

釜ヶ崎解放
1983
5月23日
刑法改悪一保安処分新設一
拘禁ニ法案を粉碎するぞ
釜ヶ崎争議団
ごんめ
632
4273

大阪拘置所所長 看守-白井を許すな!

鈴木口賠裁判勝利-差別虐殺糾弾



故 鈴木国昇君

76年2月16日、鈴木国昇君(元カケ)は、大阪拘置所内一保護層を虐殺された。先月20日大阪地裁で

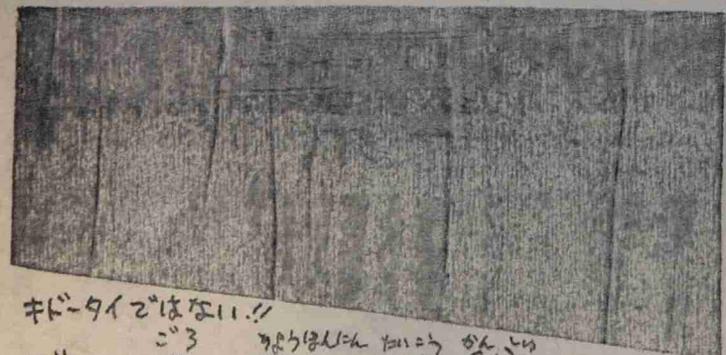
拘禁ニ法案を打ち破れ

中曾根反動内閣の巻
場により、旧内務省
一警備出身者な幅を
かせ、末端のポリ公共
まで頼りつき、ゲーム
機汚職や、ニセ調書
件などは、もみ消し、
また、無罪判決一えん

罪事件が連続している。
ポリ公どものリーク
やごうもんをやりやす
くする、拘禁ニ法案を
成立させ、えん罪、デ
ッキ上げ、見込み捜査
や見込みタイホなど手
をひいて歩こうとして

ち破らぬはならぬ。
デカケの死を心にきき
み、ヤニ、ヤミのデカケ
を二度と出さずはならぬ。
「病」者、一階層者ト
団結を求め、全力でこれら
法改悪阻止斗争に立ち上
ってこよう。

デカケのお母さんは、口
を相手とった裁判で勝利し
た。つまり、デカケは、
大阪拘置所一精神科医
白井により殺されたとい
うことが証明された。
大所長・看守・医師
白井は、2月3日なら16日
までの2週間、可精神科医
いる現在、何として
もこれら法改悪を打
ち破らぬはならぬ。



ホドタイではない!!
デカケ殺しの張本人、又拘看守ども!!

今日裁判の勝利をひま
え、デカケの冤罪を受
継ぎ、斗争に続こう!

釜のマスコミ地獄・南署の「人権侵害」、少年達の青カン者襲撃事件

われら日雇に明日はない…の…か…

袋小路の壁を破るには

三月には、センター開設

以来、二番目の求人多数で、

と言われるようになった。センター

のまわりに求人の車が、二重

三重に来ていた。

五月の下旬になった今日、

求人はいいかわらず少ない。

そして、昨年と同様に、

多くの仲間が、天王寺に、

ナンバに、梅田に、ササチ

えず、生きるすべを求めて流

れ出ている。

軍事費を重視し、福祉を切

り捨て、多くの人達に必要な

公共事業を切りつめている今

の政府の動きを見てみると、

誰の目にも、下層大衆、我々

日雇の生活上の苦難こそれを

もたらしている原因は明らか

にもかかわらず、世の一

部には、それらの原因に目

をつぶり、釜からの流出を

よぎなくされた仲間達を、

そのせまり視点でとらえて

あれは「浮浪者」である。

汚なくて、なまけもので、

ごうしようもないせつら、

と言いつのるせつらがいる。

南警署の不法

大阪府警南署は、金持ち

とそれに尾を振るせつらの

手先となって、法を守る

といつたてまえすら投げす

て、青カンしている仲間

に対して写真撮影、指紋採取

を強制し、犯罪者扱いをし

た。これは、戦前の軽犯罪

罪は警察だけで処罰できる

改悪の先取りである。

マスコミも「浮浪者」差

別、抹殺宣伝をおこなって

いる。その代表例が今週号

の「週刊新潮」だ。

架空の外人記者クラブを

設定し、その中の一人の外

人記者（実は日本人）が書

く、という高等詳術的よそ

おいをもった「東京情報」

の欄で、「浮浪者」即犯罪

者と決めつけ、南署の言い

分は最大限に紹介、擁護、

激励すると共に、青カン

者の隔離、収容、保釈処分

をあらわしている。

「新潮」発売の翌々日の

五月二十一日、早朝、午前

三時、あたかも、あらわれ

の少年達が、西成区中間、

西浪速物流センター前で野

宿していた仲間を襲いがか

った。

慢性化した不況と競争の

傾斜の中で、多くの人達

は不安を感じ、動揺してい

る。マスコミは、浮浪者

を差別、攻撃することによ

つて、動揺している人達を

おどしつけ、自民党を代表

とする今の支配体制の中へ

より確実に曲り込め、とい

つ役割を荷っている。

反差別共同斗争を

今や、釜ヶ崎解放が、釜

だけの動きでは困難である

ことが、より一層、具体的

な形で明らかになった。釜

での内いと共に、被差別部

落人民、在日朝鮮人などの

被差別人等との共同を築こう